

The background of the slide is a top-down photograph of three people sitting on a light-colored tiled floor, each using a laptop. The person on the left is a woman with dark hair, wearing a light blue short-sleeved shirt and a patterned skirt. The person on the right is a woman with blonde hair, wearing a pink hoodie and red pants. The person at the bottom is a man with dark hair, wearing a dark blue shirt and brown pants. Various items like a coffee cup, headphones, a smartphone, and a notebook are scattered around them.

海外DX人材へのアンケート調査（ロシア）

2021年3月
日本貿易振興機構（ジェトロ）
モスクワ事務所

JETRO

【免責条項】

本アンケート調査は、ジェトロ・モスクワ事務所が現地の調査会社に委託して実施したものです。本アンケート調査で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本アンケート調査で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

調査手段

調査対象者

下記条件に該当する300名

1. 調査対象国において、優秀な人材を求める日本企業が採用対象としうる有力大学の大学生もしくは大学院生（潜在的な高度人材）、あるいは卒業後3年未満の既卒者・就業者
2. 30歳未満
3. 技術面での貢献ができるDX人材。具体的にはDX関連の学部学科（例：情報処理、ソフトウェア工学、AI、ビッグデータ解析、IoTなどを専攻できる学部学科）の在学生もしくは卒業生

調査手段

インターネット上でのアンケートの実施

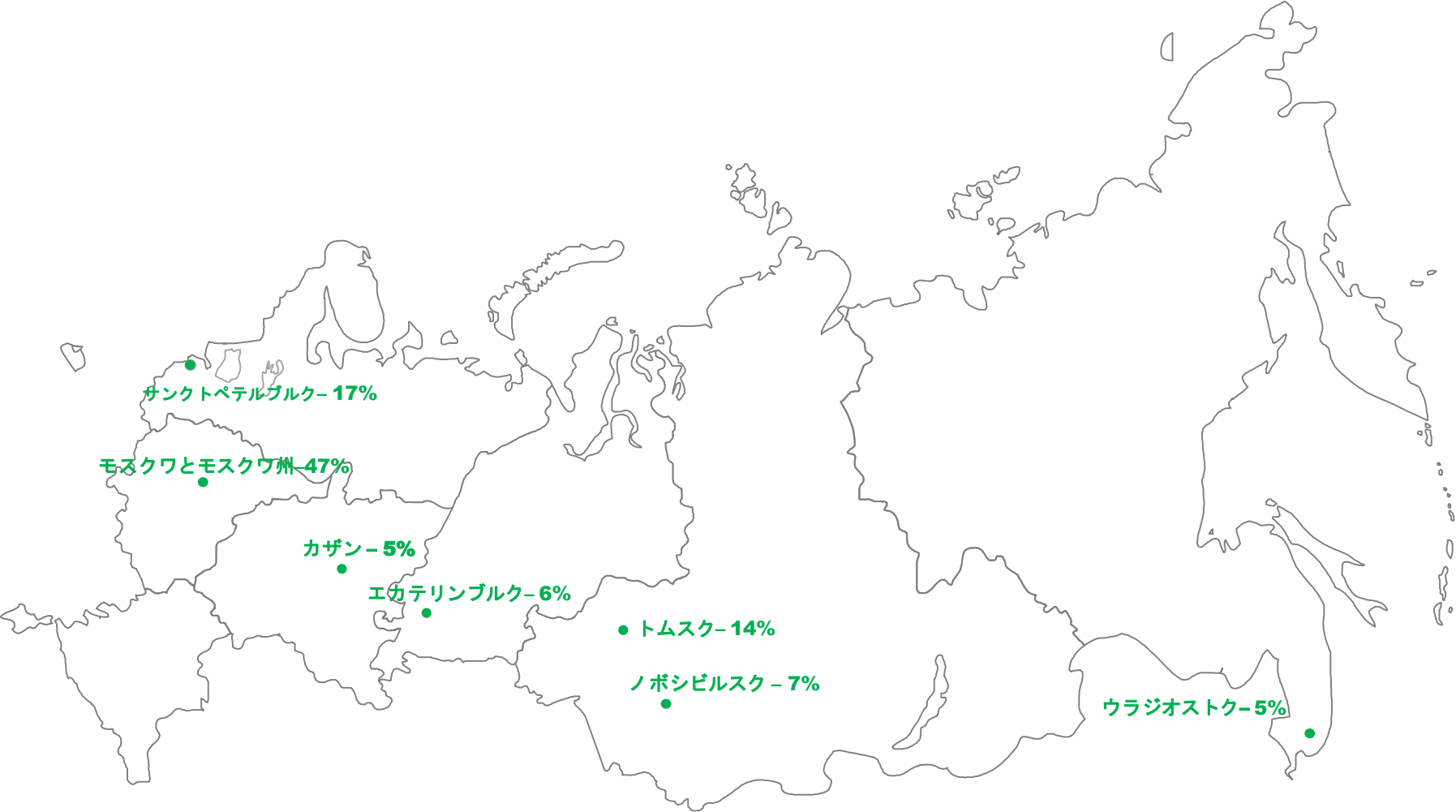
回答者の所在地

ウラジオストク
カザン
サンクトペテルブルク
ノボシビルスク
トムスク
エカテリンブルク
モスクワ
ヒムキ（モスクワ州）

調査目的

DX関連の高度外国人材を対象に、キャリア観や海外でのキャリア構築、日本への就労に対する関心を聞く

回答者の所在地



回答者が在籍または卒業した大学	
モスクワ国立大学	26
サンクトペテルブルク国立大学	11
ノボシビルスク国立大学	20
トムスク国立大学	20
モスクワ物理工科大学	9
国立研究大学高等経済学院	12
サンクトペテルブルク工科大学	22
バウマン記念モスクワ国立工科大学	27
モスクワ工業工科大学 (MFTI)	10
ロシア民族友好大学	12
ウラル連邦大学	19
モスクワ国立国際関係大学	22
ITMO大学 (サンクトペテルブルク)	16
カザン連邦大学	15
トムスク工科大学	21
国立研究工科大学 MISiS	25
極東連邦大学	15

要旨 (1)

47% が仕事を選ぶ際に重視する点として「希望する収入が得られること」を選択した。

38% が外資系企業への就職を希望し、**20%** がロシアの大企業への就職を希望している。

50% が就職の際に「自身の専攻（専門知識やスキル）」を一番にアピールする。**43%** が3～5年後にITや情報セキュリティ関連企業で働いていることを考えている。

就職先を見つける際には、「就職情報サイト」(**33%**)や「企業の求人募集」(**24%**)が最も重要な情報源となっている。

要旨 (2)

77% が海外で働いてみたいと考えている。

海外で働いてみたい理由は、「専門分野における海外での技術やトレンドを学びたい」(**26%**)、
「給与が良い」(**19%**)、「自分の成長につながる」(**17%**)

海外で働いてみたいと回答した人のうち、**38%** が働いてみたい国として「日本」を選択した。

27% が「米国」を選択した。

24% が海外勤務の際の不安要素として「海外生活全般」を選択、**21%** が「母国に残す家族や友人との別離」を挙げた。

54% が海外勤務に必要な情報として「生活関連情報（住居・医療・交通など）」を挙げた。

要旨(3)

63% は「技術開発が進んでいる」というイメージが最も日本に当てはまると回答した。2番目に当てはまるものとして、**24%** が「まじめな人が多い」を選んだ。



日本企業のイメージでも、「技術開発が進んでいる」が最も当てはまると **49%** が回答した。

64% が日本もしくは日本企業で働くメリットがあると回答した。このうち **50%** がメリットとして「海外での勤務経験」を挙げた。

36% が日本が高度外国人材を誘致するため、外国人が日本で働きやすい環境の整備する取り組みを行っていることを知っているとして回答した。

1. キャリア観

仕事を選ぶ上で重視すること

仕事を選ぶ際に、「希望する収入が得られること」が最も重視されている。また、会社や業種の将来性や、雇用が安定している点も重視する要素として挙げられた。

	加重スコア	回答数
希望する収入が得られること	510	198
会社や業種に将来性が感じられること	190	95
雇用が安定していること	187	87
自分の成長が期待できる仕事であること	114	69
長く働けそうであること	105	59
転職や起業に有利な会社であること	104	64
給与以外の福利厚生が手厚いこと	99	55
社会的地位が得られること	88	41
自分の専門性や関心を生かせること	85	45
幅広い知識や経験を得られること	74	44
フレックス勤務やテレワークなど、柔軟な勤務ができること	49	28
研修が充実していること	31	17
自分の裁量が多いこと・自分の意見が通りやすいこと	29	18
やりがいを感じられる仕事であること	27	15
規模の大きな仕事ができること	26	14
人間関係が良いこと	26	16
プライベートを大事にできること	24	15
入社後のキャリアプランが描きやすいこと	20	12
残業や休日出勤がないこと	11	7
転勤がないこと	1	1

Q1. あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。優先度の高いものから3つ、順番を付けて選んでください（対象者：全回答者 300人）。加重スコアは、回答者が1位として選択した項目を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとして合算したもの。回答数は、複数回答として当該項目が選択された数。

希望する就職先

次のキャリアとして、38%が外資系企業での就職を挙げた。20%はロシアの大企業を就職先として選択した。

外資系企業



38%

大手企業



20%

スタートアップ企業（起業するを含む）



13%

中堅・中小企業



8%

公務員・政府系機関









7%

- ・ その他 - 1%
- ・ 規模にこだわりはない - 13%

Q2. 卒業後あるいは次のキャリアで希望する就職先は以下のどれに近いですか。いずれか1つ、選んでください（対象者：全回答者 300 人）。

就職するに生かしたい自分の強み

「専攻（専門知識やスキル）」が就職に際し、一番にPR／生かしたい強みとして挙げた。語学力や想像力は強みとして多く選択されなかった。

	加重スコア		回答数
専攻（専門知識やスキル）	558		204
分析力	268		121
コミュニケーション能力	247		93
対応力・適応力	190		82
語学	127		52
創造力	110		48
その他	0		0

Q3. 就職するにあたりPRしたい／生かしたい自分の強みは何ですか。いずれか当てはまるものを2つ選択してください（対象者：全回答者300人）。加重スコアは、回答者が1位として選択した項目を2ポイント、2位を1ポイントとして合算したもの。回答数は、複数回答として当該項目が選択された数。

就職先の見つける際に重視する情報源

企業の求人募集や就職情報サイトが就職先を見つける際に最も重視する情報源とされた。これらに比べ、リクルートメント・エージェンシーの利用は一般的ではない。


























	加重スコア	回答数
企業の求人募集	413	189
就職情報サイト	396	164
家族や友人・知人からの紹介・情報	285	151
大学からの紹介・情報	223	134
リクルートメント・エージェンシー	171	77
SNS	132	69
インターンシップ先	116	71
就職イベント	62	43
その他	2	2

Q4. 就職先の見つける際に重視する情報源はどれですか。優先度の高いものから3つ、順番を付けて選んでください（対象者：全回答者 300 人）。加重スコアは、回答者が1位として選択した項目を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとして合算したもの。回答数は、複数回答として当該項目が選択された数。

3～5年後の自分になりたいキャリア

43%の回答者が3～5年後の自分になりたいキャリアとして、ITや情報セキュリティ関連企業での勤務を挙げた。3割が大手で安定した企業でのキャリア形成を望んでいる。22%は個人でのビジネス（起業）を考えている。

3～5年後の自分

IT・情報セキュリティ関連企業	43%		面白い仕事	5%	
大手で安定した企業	30%		日本で就職	4%	
個人でのビジネス	22%		順調なキャリア形成	4%	
高度に熟練した優れた専門家	17%		フリーランス／リモートワーク	3%	
企業の幹部	17%		スキルと知識の活用	3%	
海外で就職	14%		外資系企業に就職	3%	
ロシアで就職	13%		働く国にこだわりはない	3%	
人々の生活を改善させる革新的なプロジェクトの立ち上げ	12%		研究や継続的な教育	3%	
高給の役職	10%		自身の能力向上	2%	
十分な経験を積む、知識を実際に応用する機会の獲得	8%		カナダで就職	2%	
多国籍企業	7%		その他	8%	
プロジェクトマネージャー	5%		回答が困難	1%	
仕事での成功	5%				

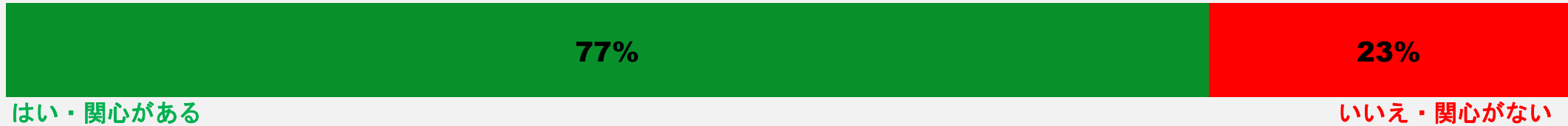
Q5. 3～5年後の自分になりたいキャリアの姿を教えてください（自由記述）（対象者：全回答者 300 人）。上記内容は自由記述を分類化したもの。

2. 海外でのキャリア

海外でのキャリア

海外で働きたいと回答した人は、主な理由として、「専門分野における海外の技術やトレンドを学びたい」（26%）、「給与が良い」（19%）、「自分の成長につながる」（17%）を挙げた。全体の23%は海外勤務を希望していない。このうち35%は「母国でもやりがいのある仕事ができる」を理由に挙げた。

海外で働くことに関心があるかどうか。



海外で働いてみたい・関心がある理由は何ですか。

専門分野における海外の技術やトレンドを学びたい	26%	<div style="width: 26%; height: 15px; background-color: #008000;"></div>
給与が良い	19%	<div style="width: 19%; height: 15px; background-color: #008000;"></div>
自分の成長につながる	17%	<div style="width: 17%; height: 15px; background-color: #008000;"></div>
今後のキャリアに有利	14%	<div style="width: 14%; height: 15px; background-color: #008000;"></div>
多様な文化や価値観に触れたい	13%	<div style="width: 13%; height: 15px; background-color: #008000;"></div>
語学力を活かしたい	3%	<div style="width: 3%; height: 15px; background-color: #008000;"></div>
母国では評価を受けにくい	3%	<div style="width: 3%; height: 15px; background-color: #008000;"></div>
知らない場所で挑戦してみたい	3%	<div style="width: 3%; height: 15px; background-color: #008000;"></div>

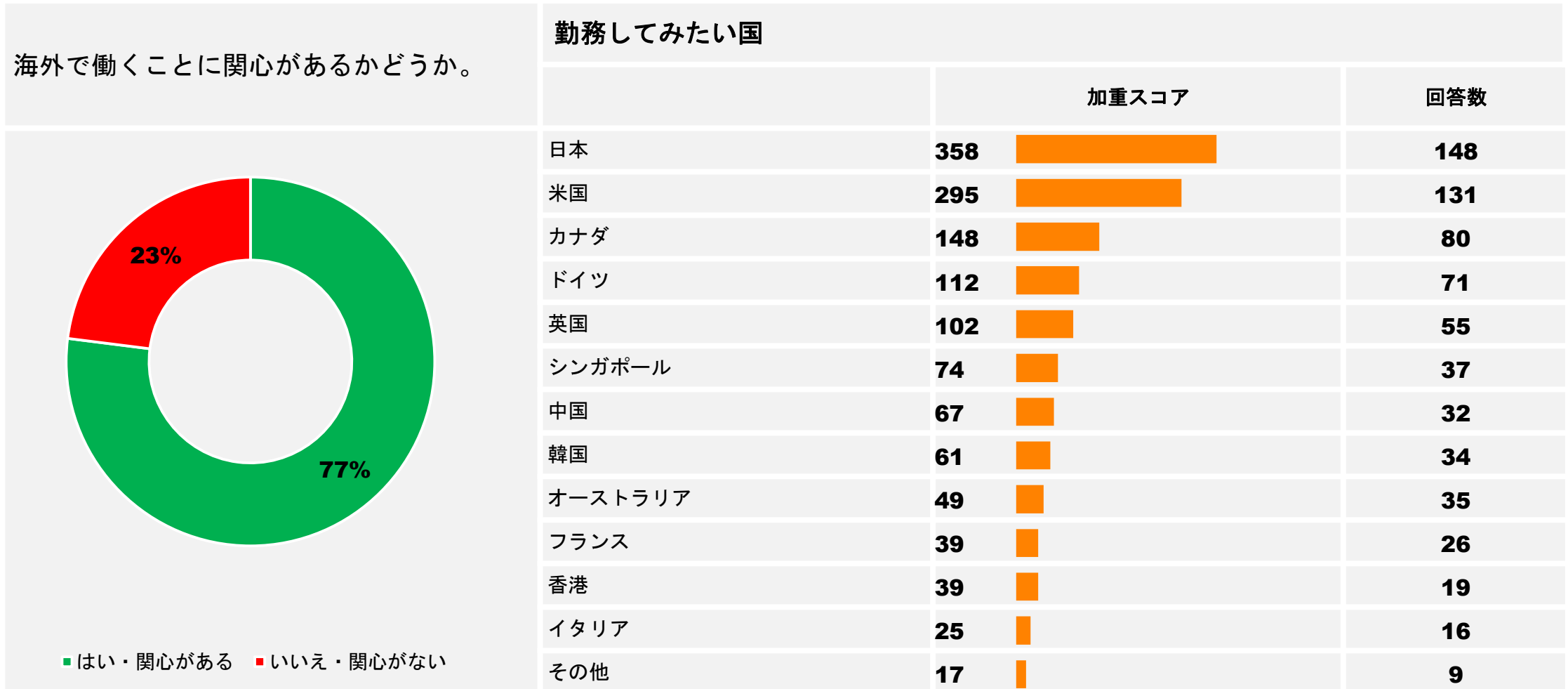
海外で働きたくない・関心がない理由は何ですか。

母国でもやりがいのある仕事ができる	35%	<div style="width: 35%; height: 15px; background-color: #ff0000;"></div>
語学が苦手である	22%	<div style="width: 22%; height: 15px; background-color: #ff0000;"></div>
知らない場所での生活が苦手である	16%	<div style="width: 16%; height: 15px; background-color: #ff0000;"></div>
家庭等の事情で母国から出たくない・出られない	13%	<div style="width: 13%; height: 15px; background-color: #ff0000;"></div>
母国でも最新の技術やトレンドを学べる	12%	<div style="width: 12%; height: 15px; background-color: #ff0000;"></div>
母国での給与水準で十分	1%	<div style="width: 1%; height: 15px; background-color: #ff0000;"></div>
その他	1%	<div style="width: 1%; height: 15px; background-color: #ff0000;"></div>

Q6. あなたは海外で働いてみたいと思いますか（対象者：全回答者 300 人）。 Q7. 海外で働きたくない・関心がない理由は何ですか。最も近いものを1つ選んでください（対象者：海外で働きたくない・関心がないと回答した69人）。 Q8. 海外で働いてみたい・関心がある理由は何ですか。最も近いものを1つ選んでください（対象者：海外で働いてみたい・関心があると回答した231人）。

勤務してみたい国

海外で勤務をしたいと回答した人のうち、勤務してみたい国として日本と米国が多く選ばれた。イタリアと香港を選ぶ回答は少なかった。

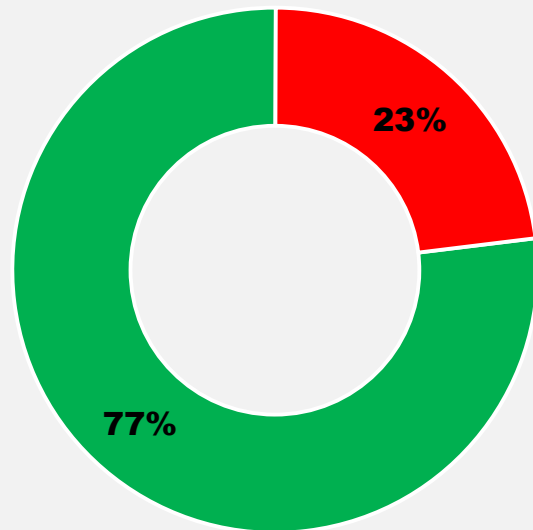


Q6. あなたは海外で働いてみたいと思いますか（対象者：全回答者 300 人）。Q9. 勤務してみたい国はどこですか。優先度の高いものから3つ、順番を付けて選んでください（対象者：海外で働いてみたい・関心があると回答した231人）。加重スコアは、回答者が1位として選択した項目を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとして合算したもの。選択数は、複数回答として当該項目が選択された数。

海外勤務する場合に不安

海外勤務する際の不安な要素として、主に「海外生活全般」「母国に残す家族や友人との別離」が挙げられた。

海外で働くことに関心があるかどうか。



■ はい・関心がある ■ いいえ・関心がない

海外勤務する場合に不安の理由

海外生活全般

24%

母国に残す家族や友人との別離

21%

言語

15%

同僚とのコミュニケーション

10%

文化

8%

仕事の進め方

7%

煩雑な在留制度

7%

仕事のプレッシャー

4%

宗教

1%

その他

1%

Q6. あなたは海外で働いてみたいと思いますか（対象者：全回答者300人）。 Q10. 海外勤務する場合に不安なことは何ですか。いずれか1つ、選んでください（対象者：海外で働いてみたい・関心があると回答した231人）。

外国で勤務することを考える場合、必要な情報

生活関連情報（住居・医療・交通など）が海外勤務する際に最も重要な情報となった。

	加重スコア	回答数
生活関連情報（住居・医療・交通など）	622	242
外国人雇用を希望する企業に関する情報	275	147
母国語でのサポート（情報提供の有無）	197	89
求人情報	179	91
在留制度情報	178	97
政情（治安の安定など）	82	49
ビジネス・商習慣情報	78	53
外国への居住に向けたロードマップ	70	43
外国人ロールモデル	62	46
自国民コミュニティ情報	57	43
Другое	0	0

Q11. 日本を含め外国で勤務することを考える場合、どのような情報が必要ですか。優先度の高いものから最大3つ、順番を付けて選んでください（対象者：全回答者 300 人）。加重スコアは、回答者が1位として選択した項目を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとして合算したものです。回答数は、複数回答として当該項目が選択された数。

3. 日本（企業）へのイメージ

日本へのイメージ

日本は技術開発が進んでいるというイメージが最もよく持たれている。

	加重スコア	回答数
技術開発が進んでいる	638	233
まじめな人が多い	218	123
外国人が働きやすい	184	80
経済的に進んでいる	135	86
外国人が暮らしやすい	110	57
生産性が高い	68	43
外国人が働きにくい	65	32
将来性がある	64	45
信頼・尊敬できる	58	38
外国人が暮らしにくい	55	35
特にイメージはない・考えたことはない	42	14
決まりがきゆうくつだ	39	23
技術開発が遅れている	22	10
経済的に遅れている	6	5
将来性がない	2	1
信頼・尊敬できない	0	0
生産性が低い	0	0

Q12. あなたが持つ日本という国へのイメージに当てはまるものはどれですか。最も当てはまるものを最大3つ、順番を付けて選んでください（対象者：全回答者 300 人）。加重スコアは、回答者が1位として選択した項目を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとして合算したものの。回答数は、複数回答として当該項目が選択された数。

日本企業・日系企業へのイメージ

日本企業に対するイメージについても、日本へのイメージと同様、最も多いのは「技術開発が進んでいる」だった。2番目に、「高品質の製品を生み出している」が挙がった。

	加重スコア	回答数
技術開発が進んでいる	513	190
高品質の製品を生み出している	358	156
グローバルに活躍する企業が多い	224	126
経営が優れている	96	60
外国人でも評価される	78	43
特にイメージはない・考えたことはない	57	19
働きやすい	45	31
グローバルな活躍は見られない	44	23
品質の低下が見られる	40	17
技術開発が遅れている	34	14
革新的なアイデアや製品を受け入れる	30	22
(日本企業での勤務は) キャリアにとってプラスになる	29	21
日本人しか評価されない	27	15
個人の能力に基づいた人事評価をしている	22	13
中小企業でも多くの企業が活躍している	18	12
残業が多く働きにくい	18	13
意思決定がしっかりとしている	10	8
保守的であまり変えようとならない	10	5
一握りの大企業だけが活躍している	9	6
経営は優れていない	6	4
意思決定が遅い	5	3
(日本企業での勤務は) キャリアにとってプラスにならない	3	3
個人の能力より年功序列で評価される	2	1

Q13. あなたが持つ日本企業・日系企業へのイメージに当てはまるものはどれですか。最も当てはまる項目を最大3つ、順番を付けて選んでください(対象者: 全回答者 300 人)。加重スコアは、回答者が1位として選択した項目を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとして合算したものの。回答数は、複数回答として当該項目が選択された数。

日本や日本企業に関して情報を入手する手段

日本や日本企業の情報を入手するために最もよく使われている手段は、イベントへの参加だった。次いで、SNS、大学での情報入手が挙げられた。

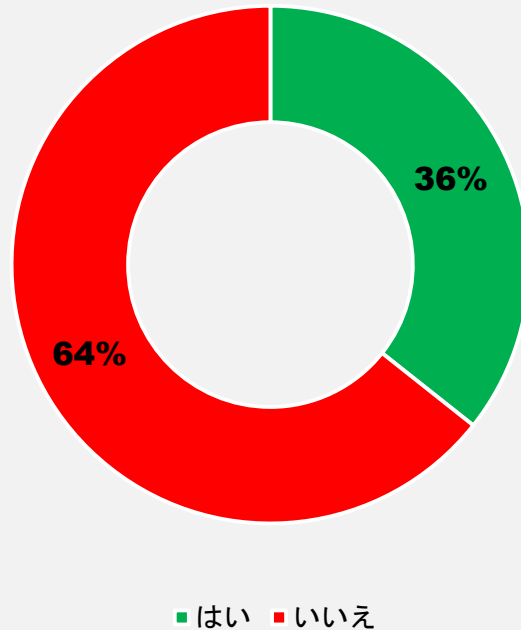
	加重スコア	回答数
イベント	482	201
SNS	303	147
大学	263	121
就職情報サイト	256	137
ニュース	172	101
リクルートメント・エージェンシー	143	72
口コミ	121	70

Q14. 日本や日本企業に関して情報を入手する場合、どのような手段が考えられますか。優先度の高いものから最大3つ、順番を付けて選んでください（対象者：全回答者 300人）。加重スコアは、回答者が1位として選択した項目を3ポイント、2位を2ポイント、3位を1ポイントとして合算したものの。回答数は、複数回答として当該項目が選択された数。

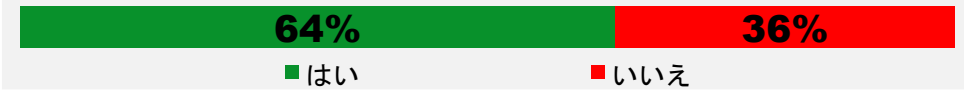
日本もしくは日本企業に勤務するメリット

約3分の1の回答者が、日本が専門的技術や能力を持つ外国人材のために働きやすい環境を整備していることを知っていた。64%が日本で働くメリットがあると回答した。このうち、50%が海外での勤務経験をメリットとして挙げた。

専門的な技術や能力を持つ外国人材に対して、出入国管理上の優遇制度を設けることで、外国人が日本で働きやすい環境が整備されていることを知っていますか。



日本もしくは日本企業に勤務するメリットはありますか。



メリットの詳細

海外での勤務経験	50%	<div style="width: 50%;"></div>
専門家としての成長	23%	<div style="width: 23%;"></div>
高い収入・生活水準	17%	<div style="width: 17%;"></div>
高度な技術	14%	<div style="width: 14%;"></div>
キャリアアップ	10%	<div style="width: 10%;"></div>
言語の壁の克服	9%	<div style="width: 9%;"></div>
文化交流	8%	<div style="width: 8%;"></div>
新しい情報や知識	6%	<div style="width: 6%;"></div>
手厚い福利厚生や快適な勤務条件	5%	<div style="width: 5%;"></div>
その他	25%	<div style="width: 25%;"></div>
回答困難	3%	<div style="width: 3%;"></div>

Q15. 日本は、専門的な技術や能力を持つ外国人材に対して... こうした日本の制度・取り組みを知っていましたか？ Q16. あなたにとって、日本もしくは日本企業に勤務するメリットはありますか（対象者：全回答者 300 人）。Q16. メリットの詳細（自由回答）（対象者：メリットがあると回答した 191 人）。

付録

回答者のプロフィール

回答者のプロフィール

性別	
男性	48%
女性	52%
年齢	
20～23	46%
24～27	37%
28～30	16%

現在の所属	
大学生	64%
大学院生	9%
社会人（起業含む）	26%
その他	1%
卒業の年	
卒業後1年未満	10%
卒業後1～2年未満	22%
卒業後2～3年未満	68%

月収	
～5,000ルーブル	4%
5,001～10,000ルーブル	6%
10,001～15,000ルーブル	4%
15,001～20,000ルーブル	6%
20,000～25,000ルーブル	6%
25,001～30,000ルーブル	14%
30,001～50,000ルーブル	26%
50,001～80,000ルーブル	15%
80,001～100,000ルーブル	6%
100,001～150,000ルーブル	4%
150,001ルーブル超	1%
なし	2%
答えたくない	6%

S1. あなたの性別について選択してください。S2. あなたの年齢について選択してください。S4. あなたの現在の所属について選択してください。D1. あなたの月収について選択してください（以上の対象者：全回答者 300 人）。S5. 高等教育を受けていますか？受けた場合、どのくらい前に大学を卒業しましたか？（対象者：社会人（起業含む）と回答した82人）。